

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月11日	記入者		連絡先	内線456
平成18年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	公共下水道事業に伴うその他整備費				
予算上の事務事業名	その他整備費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第1施策 汚水対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条(管理)公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入	▼	5 事業開始年度	▼	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
	公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、津久井町内の公共下水道整備区域内の生活排水対策の一環として補助対象事業となる公共下水道(汚水)整備後の汚水樹の設置工事や私道内の整備工事を行うもの。			(2) 対象(誰、何)	
	公共下水道整備済区域				
	(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	公共下水道汚水ます設置工(単価契約...2本) 私道要綱に準拠している要望箇所の整備(1箇所)				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	類似施設がある他市においても同様である。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	9,587	50,000	30,000
一般財源	0	0	9,587	5,381	5,381
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	44,619	24,619
人件費の合計	0	0	242	805	805
事業コスト合計	0	0	9,829	50,805	30,805
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	公共下水道汚水ます設置工(単価契約)			対象名称 と単位	発注件数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	9,826	10,242	10,424
対象数	0	0	2	2	2
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	4,913,000	5,121,000	5,212,000
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.04	1.02

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	汚水樹設置要望箇所数（件）	指標式と指標の説明	設置件数（件）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	23.0		
目標	0.0	0.0	23.0	20.0	20.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	汚水樹要望箇所数（件）	指標式と指標の説明	実施件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	23.0		
目標	0.0	0.0	23.0	20.0	20.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・汚水処理施設交付金の対象外としての、整備の充実を図り、公共水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
・公共下水道区域内にある未整備となっている私道への整備推進にむけ積極的に住民にアピールしていく。			・各住民側の意向の調整事務の難しさの再認識。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			